



「環境白書」の刊行にあたって

三重県知事

北川 正 恭

私たちを取り巻く環境問題は多種多様であり、なかでも廃棄物をはじめ、ダイオキシン類、地球温暖化などは、大きな社会問題となっています。特に廃棄物問題は私たちの生活と密接につながっており、発生量の抑制や、処理施設の立地の困難性、それに伴う不法投棄問題、リサイクル対策など緊急の課題を抱えています。

こうした環境問題の多くは大量生産、大量消費、大量廃棄というこれまでの私たちのライフスタイルに根ざしたものであり、「環境の世紀」といわれる21世紀を豊かで安心して暮らしていくためには、私たちの生活パターンを見直し、環境への負荷が少ない循環型の社会を築いていくことが必要です。

三重県では、平成9年11月に策定した総合計画「三重のくにづくり宣言」のなかで、住民、団体、企業と市町村、県が、それぞれの役割を担いながら、環境問題に対して「県民運動」として、広域的に取り組んでいくことを提唱しています。そこで平成12年を「環境県民運動元年」と位置付け、本年2月に本庁舎で取得したISO14001認証の県民局への拡大や、環境に配慮した製品を購入する「グリーン購入」等に率先して取り組んでおり、さらにこれらの取り組みを県、市町村、事業者によるネットワークへ広げていくことによって、全県的な環境県民運動へ展開しようと考えています。

また、地球温暖化防止、廃棄物の減量化、リサイクルの推進など新たな環境問題に対応するため、三重県公害防止条例を改め、生活環境保全上の観点から、県内すべての活動主体とともに取り組むことを基本とした三重県生活環境保全条例(仮称)の制定に着手しています。

この環境白書は、平成11年度における三重県の環境の状況と、環境保全に関して講じた施策を中心に取りまとめました。県民の皆様におかれましては本書を通じて、今日の環境問題に対する理解を一層深めていただくとともに、新しい世紀を担う子ども達に環境保全の大切さについて伝えていただければ幸いです。

平成12年11月

平成12年度用野生生物保護啓発ポスター原画募集

特 選

小学校の部



小俣町立小俣小学校
高橋七緒

中学校の部



伊勢市立沼木中学校
中島摩耶子

高等学校の部



三重県立みえ夢学園高等学校
青木理恵

目 次

第1部 総説

第1 県政の概要	1
第2 環境問題の動向	1
1 近年の環境問題	1
2 三重県における取り組み	1
(1) 協働・連携の体制づくり	1
(2) 情報公開の一層の推進による環境施策の推進	2
(3) 環境負荷低減への取り組みの推進	2
(4) 多様な森林整備のための新たな対応	2
第3 環境政策の指針	2
1 三重県環境基本条例	3
2 三重県環境基本計画	3
3 三重県環境基本計画アクションプラン	3

第2部 環境先進県をめざして

－環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して平成11年度に講じた施策－

第1章 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築

第1節 エネルギー・資源の適正利用

第1 エネルギー・資源の利用状況

1 電気	5
2 ガス	5
3 化石燃料エネルギー消費量	5
4 上水道	6
5 工業用水	6

第2 エネルギーの適正利用

1 省エネルギー化の推進

(1) 省資源・省エネルギー対策の推進	6
(2) 環境共生住宅の建築促進	6

2 自然エネルギーの利用の推進

(1) 三重県新エネルギービジョンの策定	6
(2) 太陽光発電の普及促進	8
(3) 中小水力開発の推進	9

3 未利用エネルギーの利用の推進

(1) ごみ固形燃料(RDF)の利用促進	9
(2) RDF焼却・発電施設の整備	9

第3 資源の適正利用

1 廃棄物の再資源化の推進

(1) 廃棄物の再資源化に関する調査研究の実施	10
-------------------------	----

2 森林の公益的機能の向上

第2節 廃棄物の適正な管理

第1 廃棄物の発生と処理の状況

1 一般廃棄物（ごみ）の状況	11
2 一般廃棄物（し尿）の状況	11
3 産業廃棄物の状況	12

(1) 種類別の排出状況	12
(2) 業種別の排出状況	12
第2 三重県廃棄物総合対策の推進	
1 廃棄物総合対策の基本的考え方	13
第3 発生抑制とリサイクルの推進	
1 リサイクルの状況	
(1) 一般廃棄物の状況	13
(2) 産業廃棄物の状況	13
2 ごみの減量化とリサイクルの推進	
(1) ごみの減量化・リサイクルの推進	14
(2) R D F 化の推進	14
(3) 産業廃棄物の再資源化に関する調査研究の実施	15
(4) 環境保全型畜産の推進	15
(5) 公共事業における再生利用の推進	15
第4 適正処理の推進	
1 一般廃棄物の適正処理の推進	
(1) 一般廃棄物処理施設の状況	15
(2) ごみの収集及び処理の状況	15
(3) 一般廃棄物処理施設の整備促進	16
2 産業廃棄物の適正処理の推進	
(1) 産業廃棄物処理施設の状況	16
(2) 産業廃棄物処理業者の状況	17
(3) 下水道汚泥広域的処理システムの整備	17
(4) 浄水場の汚泥の有効利用	17
(5) 公共事業に伴い発生する廃棄物の適正処理の推進	17
3 廃棄物処理センターによる適正処理の推進	
(1) 廃棄物処理センターの整備	17
第5 不法投棄・不適正処理の防止対策の推進	
1 監視・指導の強化	
(1) 不法投棄の状況	18
(2) 廃棄物の苦情等の状況	18
(3) 廃棄物処理施設の不適正処理の状況	18
(4) 監視・指導の強化	19
2 清潔で美しい三重づくりの推進	
(1) 「清潔で美しい三重をつくる条例」に基づく各種事業の実施	19
(2) 道路、河川等の清掃	19
第6 し尿処理体制の整備の推進	19
第3節 大気環境の保全	
第1 大気汚染の防止	
1 大気汚染の現況	
(1) 概況	20
(2) 大気汚染の測定結果	21
2 大気環境保全総合対策の推進	23
3 工場・事業場対策の推進	

(1) 工場・事業場に対する規制・指導	23
4 自動車交通公害対策の推進	
(1) 現状	26
(2) 自動車交通公害対策の総合的推進	26
(3) 低公害車の普及促進	27
5 光化学スモッグ対策の推進	
(1) 光化学オキシダント濃度の測定	27
(2) 光化学スモッグ緊急時の措置	27
(3) 北勢地域光化学大気汚染予測システム	27
6 有害大気汚染物質対策の推進	27
7 ダイオキシン類対策の推進	28
8 地球温暖化対策の推進	
(1) 地球温暖化問題の経緯	28
(2) 国における取り組み	29
(3) 県における取り組み	29
9 フロン対策の推進	
(1) オゾン層の破壊	31
(2) フロン回収・処理の促進	31
第2 騒音・振動の防止	
1 騒音・振動の現況	32
2 工場・事業場対策の推進	
(1) 騒音規制法及び振動規制法による規制	33
(2) 公害防止条例による規制	34
(3) 立入検査及び指導	35
3 都市生活騒音対策の推進	35
4 環境騒音及び道路交通振動の現状	
(1) 環境騒音（一般地域及び道路に面する地域）	35
(2) 道路交通振動	36
(3) 自動車交通騒音・振動対策の推進	36
第3 悪臭の防止	
1 悪臭の現況	36
2 工場・事業場対策の推進	
(1) 悪臭防止法による規制	36
(2) 立入検査及び指導	36
(3) 畜産経営に起因する悪臭の防止	36
第4節 水環境の保全	
第1 水質汚濁の防止	
1 水質汚濁の現状	
(1) 調査地点等	39
(2) 結果概況	39
(3) 評価と対策	39
2 地下水の状況	
(1) 概況調査	40
(2) 定期モニタリング調査	40

(3) 評価と対策	40
3 水浴に供される公共用水域の状況	40
4 環境基準類型指定の実施	40
5 工場・事業場対策の推進	
(1) 水質汚濁防止法による規制	40
(2) 三重県公害防止条例による規制	41
(3) 立入検査及び指導	41
(4) 排水実態把握調査	41
(5) 畜産経営に起因する水質汚濁の防止	41
6 生活排水対策の推進	
(1) 生活排水処理施設の整備推進	41
(2) 生活排水総合対策の推進	43
(3) 浄化槽の適切な維持管理	44
7 有害化学物質対策の推進	
(1) 有害化学物質の実態把握	44
(2) 環境ホルモン	45
(3) ダイオキシン類調査	45
(4) ゴルフ場の維持管理指導	46
(5) ゴルフ場排出水の監視・指導	47
(6) ゴルフ場における農薬の適正使用	47
8 閉鎖性水域の水質汚濁防止対策の推進	
(1) 伊勢湾総量規制の推進	47
(2) 伊勢湾総合対策協議会による取組み	48
(3) 漁場保全対策の推進	48
(4) 下水処理場での高度処理の導入	48
9 流域別の総合的な河川水質保全対策の推進	
(1) 宮川に望ましい河川流量の設定と対策	48
(2) ダムの放流水対策と土砂の移動確保	48
(3) 河川環境管理基本計画の策定	48
第2 浄化機能の確保	
1 雨水貯留・浸透機能の維持向上	
(1) 水源地域の森林整備	49
(2) 河川・海域の浄化対策	49
(3) 河川流量の確保対策の推進	49
第5節 土壌・地盤環境の保全	
第1 土壌汚染の防止	
1 土壌汚染対策の推進	
(1) 西員弁農用地土壌汚染対策の経緯	50
(2) 公害防除特別土地改良事業の実施	50
(3) 対策地域内調査及び結果	50
(4) 対策地域関連調査及び結果	51
2 土壌汚染物質のモニタリング体制の確立	
(1) 土壌環境基準適合状況調査等の実施	51
(2) ダイオキシン類環境調査の実施	52

第2 地盤沈下の防止	
1 地盤沈下の現状	52
2 地盤沈下対策の推進	
(1) 地下水採取の規制・指導	53
(2) 地盤沈下の観測・調査	53
(3) 濃尾平野地盤沈下防止等対策要綱	54
第2章 人と自然が共にある環境の保全	
第1節 多様な自然環境の保全	
第1 自然環境の概況	
1 地形・地質	
(1) 地形	55
(2) 地質	55
2 気候	55
3 植物	55
4 動物	
(1) 哺乳類	55
(2) 鳥類	55
(3) 昆虫類	56
(4) 両生類	56
(5) 爬虫類	56
(6) 淡水魚類	56
5 自然環境保全地域	56
6 自然公園	57
7 鳥獣保護区等	57
8 森林	57
第2 すぐれた自然環境の保全	
1 自然環境保全地域等の拡大	
(1) 自然環境保全地域の指定	57
第3 雑木林・人工林・農地等二次的自然の保全	
1 森林の保全・育成	
(1) 森林計画制度の適正な運営	58
(2) 林業担い手の育成等	58
(3) 持続可能な森林経営の推進	59
(4) 多様な森林の造成・整備	59
(5) 優良種苗の確保	59
(6) 「三重の木を使おう、森を育てるために」県民運動の展開	59
(7) 保安林の整備・管理	59
(8) 林地開発許可制度による指導	60
(9) 森林病虫害等の防除	60
2 生物多様性に富んだ農村空間の形成と環境保全型農業の推進	
(1) 環境保全型農業の推進	61
(2) 農村における環境整備	61
(3) 農業担い手の育成	62

(4) 耕作放棄地の解消	62
3 河川・溪流・湖沼の保全・再生	
(1) 河川改修の実施における配慮	62
(2) 砂防事業の実施における配慮	62
4 農山村と都市との交流の促進	
(1) 市民農園の促進	63
(2) 山村と都市との交流の促進	63
第4 沿岸域の自然環境の保全	
1 海岸の水際線の保全・再生	
(1) 海岸の整備	63
2 砂浜・礫浜の保全・再生	
(1) 七里御浜海岸の侵食対策	63
3 藻場・干潟の保全・再生	
(1) 藻場・干潟の造成	63
4 漁村と都市との交流の推進	64
第2節 生物の多様性の確保	
第1 貴重・希少な野生生物の保護	
1 天然記念物指定による野生生物の保護	65
2 希少な野生生物の保護	65
3 鳥獣の保護・管理	
(1) 野生生物の保護	65
4 野生生物の生息状況等の把握	
(1) みえの自然環境調査の実施	65
第2 生態系の多様性の確保	
1 主要な生態系・自然生息地の保護	
(1) 開発行為等の指導	65
2 移入種による影響対策の推進	
(1) 動物の保護管理	66
第3節 良好な自然環境の活用	
第1 自然公園等の整備・活用	
1 自然公園の管理・保護	67
2 自然公園利用施設の整備	67
3 自然公園区域等の見直し	67
4 三重県民の森及び三重県上野森林公園の活用	67
第2 森林・水辺等の保全・活用	
1 森林の整備・活用	
(1) 健康増進施設と連携を図った森林整備	68
(2) 林業地域の生活環境の改善	68
(3) 生活環境保全林の整備	68
2 農業利用施設の活用	
(1) ため池周辺の整備	68
3 温泉の保護・利用	
(1) 温泉の保護	69
(2) 拠点施設の整備	69

4	自然遊歩道の拡大整備	
(1)	東海自然歩道の整備	69
(2)	近畿自然歩道の整備	70
5	グリーン・ツーリズムの促進	
(1)	グリーン・ツーリズムの促進	70
(2)	グリーン・ツーリズムの推進	70
第3章 やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造		
第1節 身近な自然環境の保全・創出		
第1 快適環境の現況		
1	都市公園	71
2	緑	71
3	水辺環境	71
4	歴史的・文化的な遺産	72
5	景観	72
第2 身近な緑の保全・創出		
1 里山・市街地内樹林地等の保全と公園・緑地整備の推進		
(1)	自然環境保全協定の締結	73
(2)	工場緑化の推進	73
(3)	緑化の推進	74
(4)	居住地等周辺の森林整備	74
(5)	河畔林等の整備	74
(6)	緑の基本計画の推進	74
(7)	都市公園の整備	74
2	公共施設（用地）における緑化の推進	75
3	緑のネットワーク化の推進	
(1)	緑のネットワーク21の策定	75
第3 身近な水辺・海辺の整備・創出		
1 多自然型川づくりと親水空間の形成		
(1)	潤いとふれあいのある水辺空間の形成	75
(2)	街のシンボルとしての川づくり	75
2 ため池・ダム湖等周辺における親水空間の整備		
(1)	ダム湖周辺の整備	75
3 海岸・港等における親水空間の整備		
(1)	海岸環境の整備	75
(2)	港湾の整備	76
(3)	漁村・漁港環境の整備	76
第4 身近な生物生息地の保全・創出		
1	身近な緑の保全・創出による野生生物の成育・生息地の確保	76
2	身近な水辺・海辺の整備・創出による野生生物生息地の確保	76
第2節 良好な景観の形成		
第1 都市景観の保全・創出		
1 道路・沿道景観の保全・創出		
(1)	うるおいのある道路空間の創造	77

(2) 街路の整備	77
2 良好な広告景観の形成	
(1) 屋外広告物に対する規制・指導	77
3 地区計画制度の活用	77
4 風致地区等の見直し・拡大	78
第2 農山漁村景観の保全・復元	
1 松並木の保全・再生	
(1) ふるさとの松元気回復事業	78
(2) 民間団体の活動支援	78
第3 体系的な郷土景観の形成	
1 三重県景観形成指針等の推進	
(1) 三重県景観形成指針に基づく施策の展開	78
(2) 景観整備重点地区の設定	78
2 市町村における景観形成の推進	
(1) 市町村の景観整備に対する支援	78
(2) 市町村の景観に関する計画策定や条例制度の促進	78
第3節 歴史的・文化的環境の保全	
第1 文化財等の保護・活用	
1 指定文化財の保護・活用	
(1) 指定文化財の保護・活用	79
(2) 斎宮跡の歴史ロマン再生	79
2 登録有形文化財の保護・活用	
(1) 近代化遺産の調査・保存	79
3 埋蔵文化財の調査・保存	79
4 史跡等指定地域の公有地化の推進	
(1) 史跡等指定地域の保存・活用	79
第2 歴史的・文化的景観の保全・活用	
1 歴史の道・水路等の保全・整備	
(1) みえ歴史街道構想の推進	80
(2) 歴史の道整備・活用	80
第4章 環境保全活動への参加と協働	
第1節 環境教育・学習の推進	
第1 環境教育・学習の拠点整備	
1 環境教育の拠点整備の推進	
(1) 三重県環境学習情報センターの整備・充実	81
2 地域にある環境資源を活かした環境教育施設の整備	
(1) 奥伊勢フィールドミュージアム推進事業	81
(2) ビジターセンターの整備	81
第2 環境教育・学習の充実	
1 学校・社会における環境教育・学習の推進	
(1) 環境教育・学習の推進	82
(2) 環境月間事業の実施	82
(3) こどもエコクラブ運動	83

(4) 身近な環境問題への取り組みの推進	83
2 自然とのふれあいや実践活動を通じた環境教育・学習の推進	
(1) 自然に親しむつどいの開催	84
(2) 里山保全の普及啓発	84
3 環境教育指導者の育成	
(1) 重点地域水質チェック・アドバイザーの養成	84
(2) 自然観察指導員の育成	84
4 環境教育に係る情報ネットワークづくり	
(1) 環境データバンクの整備	84
第2節 地域における環境保全活動の推進	
第1 消費者・事業者としての県の取り組み	
1 環境調整システムの推進	85
2 環境保全活動の推進	85
第2 市町村による環境保全施策の推進	
1 基本計画の推進に係る市町村に対する支援	
(1) 生活創造圏づくり推進事業の実施	86
2 市町村環境基本条例・計画策定の促進	
(1) 市町村環境基本計画策定の促進	86
第3 住民・団体の自主的な環境保全活動の促進	
1 基本計画の推進に係る住民・団体に対する支援	
(1) 地域づくり団体活動の支援	87
(2) 河川の維持・美化を行う団体の活動支援	87
2 行政と住民・団体等との連携を図った環境保全活動の推進	
(1) 緑のネットワーク運動の推進	87
3 森林ボランティアの育成	
(1) グリーンボランティアの育成	87
第4 事業者の環境保全活動の促進	
1 環境保全施設整備に対する支援	
(1) 三重県環境保全施設整備資金融資制度	88
(2) 三重県環境保全施設整備資金利子補給制度	88
2 環境管理・監査制度の導入促進	
(1) 環境活動評価プログラムの普及	89
(2) 環境管理・監査制度の導入促進	89
3 環境関連産業の振興	
(1) 鈴鹿山麓リサーチパークの整備	89
(2) 三重ハイテクプラネット21構想の推進	89
(3) 環境に優しい生産技術の確立	89
第3節 国際的な環境保全活動へ協力	
第1 国際的な環境保全活動の基盤整備	
1 (財)国際環境技術移転研究センター等との連携・協力	
(1) (財)国際環境技術移転研究センターによる環境保全活動	90
(2) (財)国際環境技術移転研究センターの基盤強化	90
2 保健環境研究所の整備・活用	91
第2 国際的環境協力の推進	

1	姉妹友好提携先に対する環境協力の推進	91
2	国際環境自治体協議会を通じた国際協力	91
第5章 共通施策		
第1節 環境保全の総合的取組みの推進		
第1 基盤的施策の推進		
1 総合的・重点的施策の推進		
(1)	流域圏づくりの推進	93
(2)	福井・滋賀・三重地域連携軸構想の推進	93
(3)	岐阜・三重・滋賀広域交流圏の形成	93
2	三重県地球環境保全行動計画の推進	93
3 公害防止計画		
(1)	公害防止計画の推進	94
(2)	公害防止計画に係る事業実績	94
4	工場等の許可制	94
第2 環境汚染等の未然防止		
1	環境影響評価制度の充実・強化	95
2	公害事前審査制度の活用	97
3 化学物質の包括的な管理対策の推進		
(1)	漁業被害の未然防止	97
第3 健康被害の救済・予防		
1 健康被害の救済・予防の推進		
(1)	公害健康被害者に対する補償給付	98
(2)	保健福祉事業の実施	99
(3)	調査研究の実施	99
(4)	健康被害予防事業の実施	100
第4 公害紛争への対応		
1	公害等の苦情・紛争の処理	100
2	環境保全協定締結の推進	102
第2節 監視・観測等の体制の整備及び環境情報の提供		
第1 監視・観測等の体制の整備		
1 環境汚染の常時監視等の推進		
(1)	環境総合監視システムの整備	103
(2)	広域環境監視システムの運用	103
(3)	水質テレメータ監視システム	104
第2 環境情報の提供・整備		
1	環境情報総合システムの整備	104
2	地図情報システムを活用した森林資源の管理	105
第3節 環境保全に関する調査研究等の推進		
第1 公害の防止・自然環境の保全等に関する調査研究		
1 公害の防止・自然環境の保全等に関する調査研究の推進		
(1)	科学技術振興センターにおける調査研究の推進	106
2 調査研究の推進		
(1)	科学技術振興センターにおける共同調査研究	106

(2) 環境科学センターにおける調査研究	106
(3) 工業技術総合研究所における調査研究	107
(4) 農業技術センターにおける調査研究	107
(5) 林業技術センターにおける調査研究	108
(6) 水産技術センターにおける調査研究	108
3 試験研究機関の連絡調整等の推進	108
4 公害の防止・自然環境の保全等に関する試験研究の推進	
(1) 保健環境研究所の整備	109
第2 地球規模の環境保全等に関する調査研究	
1 地球環境関係物質等に関する調査研究	
(1) 酸性雨等森林衰退モニタリング調査の実施	109
(2) 酸性雨等の実態調査	109

第3部 平成12年度において環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して講じようとする施策

第1章 循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築

第1節 エネルギー・資源の適正利用

第1 エネルギーの適正利用

1 省エネルギー化の推進

(1) 省資源・省エネルギー対策の推進111

(2) 環境共生住宅の建設促進111

2 自然エネルギーの利用の推進

(1) 新エネルギー導入の推進111

(2) 太陽光発電の普及促進111

(3) 中小水力開発の推進112

3 未利用エネルギーの利用促進

(1) ごみ固形燃料（RDF）の利用促進112

(2) RDF焼却・発電施設の整備112

第2 資源の適正利用

1 森林の公益的機能の向上112

第2節 廃棄物の適正な管理

第1 発生抑制とリサイクルの推進

1 ごみの減量化とリサイクルの推進

(1) ごみ減量化とリサイクルシステムの確立113

(2) RDF（ごみ固形燃料）化の推進113

(3) 環境保全型畜産の推進113

(4) 公共事業における再生利用の推進114

2 産業廃棄物の発生抑制等の推進

(1) 産業廃棄物自主情報公開等促進事業114

第2 適正処理の推進

1 一般廃棄物の適正処理の推進

(1) 一般廃棄物処理施設の整備促進等114

(2) ダイオキシン類削減の対策114

2 産業廃棄物の適正処理の推進

(1) 産業廃棄物の許可等114

(2) 下水道汚泥広域的処理システムの整備	114
(3) 浄水場の汚泥の有効利用	114
(4) 公共事業に伴い発生する廃棄物の適正処理の推進	114
3 公共関与による適正処理の推進	
(1) 廃棄物処理センターによる適正処理推進事業	115
第3節 不法投棄・不適正処理の防止対策の推進	
1 監視・指導の強化	
(1) 産業廃棄物対策の推進	115
(2) 環境保全対策の推進	115
2 清潔で美しい三重づくりの推進	
(1) 環境美化推進事業	115
(2) 道路、河川等の清掃	115
第4節 し尿処理体制の整備の促進	
1 し尿の海洋投入処分の全廃	115
第3節 大気環境の保全	
第1節 大気汚染の防止	
1 工場・事業場対策の推進	
(1) 工場・事業場に対する規制・指導	116
2 自動車交通公害対策の推進	
(1) 自動車交通公害対策の総合的推進	116
(2) 低公害車の普及促進	116
3 光化学スモッグ対策の推進	
(1) 緊急時の措置	116
(2) 予測システムの運用	116
4 有害大気汚染物質対策の推進	117
5 地球温暖化対策の推進	
(1) 地球温暖化対策推進計画の進行管理	117
(2) 温室効果ガス排出抑制等のための計画の作成	117
(3) 普及啓発	117
6 フロン対策の推進	
(1) フロン回収・処理の促進	117
(2) フロン破壊処理の推進	117
第2節 騒音・振動の防止	
1 工場・事業場対策の推進	
(1) 工場・事業場に対する規制・指導等	117
2 都市生活騒音対策の推進	
(1) 近隣騒音対策	117
(2) 未規制事業場（施設）対策	117
3 騒音・振動対策の推進	
(1) 騒音マップの作成の検討	117
(2) 道路交通騒音対策の推進	117
第3節 悪臭の防止	
1 工場・事業場対策の推進	
(1) 工場・事業場に対する規制・指導等	117

(2) 畜産経営に起因する悪臭の防止	118
第4節 水環境の保全	
第1 水質汚濁の防止	
1 環境基準類型指定・見直しの推進	
(1) 環境基準類型あてはめ	119
2 工場・事業場対策の推進	
(1) 工場・事業場に対する規制・指導	119
(2) 畜産経営に起因する水質汚濁の防止	119
3 生活排水対策の推進	
(1) 生活排水処理施設の整備推進	119
(2) 合併処理浄化槽の設置促進	119
(3) 生活排水総合対策の推進	119
(4) 浄化槽の適切な維持管理	119
4 有害化学物質対策の推進	
(1) ダイオキシン類調査	119
(2) 環境ホルモン調査	119
(3) ゴルフ場の維持管理指導	120
(4) ゴルフ場排水の監視・指導	120
(5) ゴルフ場における農薬の適正使用	120
5 閉鎖性水域の水質汚濁防止対策の推進	
(1) 伊勢湾における環境保全の推進	120
(2) 閉鎖性水域における富栄養化対策の推進	120
(3) 漁場保全対策の推進	120
(4) 下水道整備における高度処理の導入	120
6 流域別の総合的な河川水質保全対策の推進	
(1) 土砂管理について	120
(2) 宮川ダム湖への選択取水設備の設置検討	121
(3) 宮川支流への環境基準類型あてはめ	121
(4) 河川環境管理基本計画の策定	121
第2 浄化機能の確保	
1 雨水貯留・浸透機能の維持向上	
(1) 水源地域の森林整備	121
2 河川・海域等の浄化対策の整備促進	
(1) 直接浄化施設の整備状況	121
(2) 漁場環境の改善	121
3 河川流量の確保対策の推進	
(1) ダムによる河川流水の維持	121
第5節 土壌・地盤環境の保全	
第1 土壌汚染の防止	
1 土壌汚染対策の推進	
(1) 対策地域内調査及び対策地域内関連調査	122
(2) 公害防除特別土地改良の推進	122
2 土壌汚染物質のモニタリング体制の確立	
(1) 土壌環境基準適合状況調査等の実施	122

(2) ダイオキシン類環境実態調査の実施	122
第2 地盤沈下の防止	
1 地盤沈下対策	
(1) 地盤沈下対策の推進	122
(2) 農業用施設の被害復旧	122
(3) 北伊勢工業用水道の整備	122
第2章 人と自然が共にある環境の保全	
第1節 多様な自然環境の保全	
第1 すぐれた自然の保全	
1 自然環境保全地域・県立自然公園特別地域等の拡大	
(1) 自然環境保全地域の指定	123
(2) 自然環境保全対策事業の推進	123
2 公有地化の推進	123
第2 雑木林・人工林・農地等二次的自然の保全	
1 森林の保全・育成	
(1) 森林の計画的な管理など宮川流域の自然環境の保全	123
(2) 森林計画制度の適正な運営	123
(3) 「三重の木を使おう、森を育てるために」県民運動の展開	123
(4) 「森林は海の恋人」総合対策の展開	123
(5) 林業担い手の育成等	123
(6) 多様な森林の造成・整備	123
(7) 優良種苗の確保	123
(8) 保安林の整備・管理	124
(9) 林地開発許可制度による指導	124
(10) 森林病虫害等の防除	124
2 生物多様性に富んだ農村空間の形成と環境保全型農業の推進	
(1) 環境保全型農業の推進	124
(2) 農村における環境整備	125
(3) 農業担い手の育成	125
(4) 耕作放棄地の解消	125
3 河川・溪流・湖沼の保全・再生	
(1) 河川改修の実施における配慮	125
(2) 砂防事業の実施における配慮	125
4 農山村と都市との交流の推進	
(1) 市民農園の促進	126
(2) 山村と都市との交流促進	126
第3 沿岸域の自然環境の保全	
1 海岸の水際線の保全・再生	
(1) 海岸の整備	126
2 砂浜・礫浜の保全・再生	
(1) 七里御浜海岸の浸食対策	126
3 藻場・干潟の保全・再生	
(1) 藻場・干潟の造成	126

4	漁村と都市との交流の推進	126
第2節	生物の多様性の確保	
第1	貴重・希少な野生生物の保護	
1	天然記念物指定による野生生物の保護	
(1)	文化財のパトロール	127
(2)	特別天然記念物カモシカ特別調査及び通常調査の実施	127
(3)	天然記念物食害対策	127
2	鳥獣の保護・管理	
(1)	野生生物の保護	127
3	野生生物の生息状況等の把握	
(1)	みえの自然環境の調査	127
第2	生態系の多様性の確保	
1	移入種による影響対策の推進	
(1)	動物の保護管理	127
(2)	移入魚類の影響対策	127
第3節	良好な自然環境の活用	
第1	自然公園等の整備・活用	
1	自然公園の管理・保護	128
2	自然公園利用施設の整備	128
3	自然公園区域等の見直し	128
第2	森林・水辺等の保全・活用	
1	森林の整備・活用	
(1)	健康増進施設と連携を図った森林整備	128
(2)	山村地域の生活環境の改善	128
(3)	環境保全保安林の整備	128
2	農業利用施設の活用	
(1)	ため池及び農業用水路周辺の整備	128
3	温泉の保護・利用	
(1)	温泉の保護	129
(2)	拠点施設の整備	129
4	自然歩道の拡大整備	
(1)	東海自然歩道の整備	129
(2)	近畿自然歩道の整備	129
5	グリーン・ツーリズムの促進	
(1)	グリーン・ツーリズムの促進	129
(2)	グリーン・ツーリズムの推進	129
第3章	やすらぎとうるおいのある快適な環境の創造	
第1節	身近な自然環境の保全・創出	
第1	身近な緑の保全・創出	
1	里山・市街地内樹林地等の保全と公園・緑地整備の推進	
(1)	自然環境保全協定の締結	130
(2)	工場緑化の推進	130
(3)	緑化の推進	130

(4) 居住地等周辺の森林整備	130
(5) 緑の基本計画の推進	130
(6) 都市公園の整備	130
2 公共施設（用地）における緑化の推進	130
第2 身近な水辺・海辺の整備・創出	
1 多自然型川づくりと親水空間の整備	
(1) 潤いとふれあいのある水辺空間の形成	130
(2) 街のシンボルとしての川づくり	130
2 ため池・ダム湖等周辺における親水空間の整備	
(1) ダム湖周辺の整備	131
3 海岸・港等における親水空間の整備	
(1) 海岸環境の整備	131
(2) 港湾の整備	131
(3) 漁村・漁港環境の整備	131
第3 身近な生物生息地の保全・創出	
1 身近な緑の保全・創出による野生生物の生育・生息地の確保	131
2 身近な水辺・海辺の整備・創出による野生生物生息地の確保	
(1) 多自然型川づくり	131
(2) 溪流環境整備計画の策定	131
第2節 良好な景観の形成	
第1 都市景観の保全・創出	
1 道路・沿道景観の保全・創出	
(1) 風格ある幹線道路の整備	132
(2) 街路の整備	132
2 良好な広告景観の形成	132
3 地区計画制度の活用	132
第2 農山漁村景観の保全・復元	
1 良好な自然景観の保全	
(1) 海につながる景観づくりの推進	132
2 松並木の保全・再生	
(1) ふるさとの松元気回復	132
(2) 民間団体の活動支援	132
第3 体系的な郷土景観の形成	
1 三重県景観形成指針等の推進	
(1) 景観づくりキャンペーンの実施	132
(2) 景観整備重点地区の設定	132
2 市町村における景観形成の推進	132
第3節 歴史的・文化的環境の保全	
第1 文化財等の保護・活用	
1 指定文化財の保護・活用	
(1) 指定文化財の保護・活用	133
(2) 斎宮跡の歴史ロマン再生	133
2 埋蔵文化財の調査・保存	
(1) 県営ほ場整備等に伴う発掘調査	133

(2) 斎宮跡の発掘調査	133
3 史跡等指定地域の公有地化の推進	
(1) 史跡等指定地域の保存・活用	133
4 自然資産や歴史文化資産の保存・活用	
(1) 奥伊勢フィールド・ミュージアム計画の推進	133
第2 歴史的・文化的景観の保全・活用	
1 歴史・文化の薫るまちなみの保全・整備	
(1) 伝統的建造物群や国・県指定文化財（建造物及び史跡）の保存・整備	133
2 歴史の道・水路等の保全・整備	
(1) 歴史の道整備・活用	134
第4章 環境保全活動への参加と協働	
第1節 環境教育・学習の推進	
第1 環境教育・学習の拠点整備	
1 環境教育の拠点整備の推進	
(1) 環境学習情報センターの整備	135
2 地域にある環境資源を活かした環境教育施設の整備	
(1) 奥伊勢フィールド・ミュージアム計画の推進	135
第2 環境教育・学習の充実	
1 学校・社会における環境教育・学習の推進	
(1) 環境教育・学習の推進	135
(2) 環境月間事業の実施	135
(3) こどもエコクラブ活動の促進	135
(4) 学校における横断的・総合的な環境教育の実践	135
(5) 地域に根ざした環境教育推進モデル校	135
(6) 身近な環境問題への取り組みの推進（学校環境デーの実施）	135
(7) 環境観測結果やデータ交換による共同研究の推進	135
(8) 身近な環境問題への取り組みの推進	136
2 環境教育指導者の育成	
(1) 重点地域水質チェック・アドバイザーの養成	136
(2) 環境教育リーダー養成研修会の開催	136
(3) 環境教育指導者の育成	136
3 環境教育に係る情報ネットワークづくり	
(1) インターネットによる情報交流	136
第2節 地域における環境保全活動の推進	
第1 消費者・事業者としての県の取組	
1 環境調整システムの推進	137
2 環境保全活動の推進	137
3 自主的な環境マネジメントの推進	
(1) ISO 14001の導入	137
(2) ISO 14001の普及・啓発	137
第2 市町村による環境保全施策の推進	
1 基本計画の推進に係る市町村に対する支援	
(1) 生活創造圏づくり推進事業の実施	137

2	市町村におけるISO14001導入の促進	137
第3	住民・団体の自主的な環境保全活動の促進	
1	基本計画の推進に係る住民・団体に対する支援	
(1)	地域づくり団体活動の支援	137
(2)	緑化活動の促進	137
(3)	河川の維持・美化を行う団体の活動支援	137
2	行政と住民・団体と企業等との連携を図った環境保全活動の推進	
(1)	緑のネットワーク運動の推進	137
(2)	環境先進県づくり県民運動の推進	137
3	環境家計簿の普及	138
4	住民参加型公園・緑地等の維持管理システム	
(1)	海辺の森林づくり	138
5	森林ボランティアの育成	
(1)	グリーンボランティアの育成	138
(2)	森林管理組織の育成や支援	138
第4	事業者の環境保全活動の促進	
1	環境保全施設整備に対する支援	138
2	環境マネジメント・監査制度の導入促進	
(1)	環境活動評価プログラムの普及	138
(2)	環境マネジメント・監査制度の導入促進	138
(3)	ISO14001の導入支援事業の実施	138
3	環境ビジネスの育成・振興	
(1)	鈴鹿山麓リサーチパークの整備	138
(2)	三重ハイテクプラネット21構想の推進	139
(3)	環境関連産業の振興	139
(4)	環境に優しい生産技術の確立	139
第3節	国際的な環境保全活動への協力	
第1	国際的な環境保全活動の基盤整備	
1	(財)国際環境技術移転研究センター等との連携・協力	
(1)	(財)国際環境技術移転研究センターへの人的協力	140
(2)	(財)国際環境技術移転研究センターへの事業委託	140
第2	国際的環境協力の推進	
1	姉妹友好提携先に対する環境協力の推進	
(1)	中国河南省への環境保全支援	140
2	国際環境自治体協議会（ICLEI）を通じた国際協力	
(1)	国際環境ネットワークの構築	140
3	環境保全適地技術の移転促進	
(1)	適地環境技術研究開発調査の実施	140
第5章	共通施策	
第1節	環境保全の総合的取組みの推進	
第1	基盤的施策の推進	
1	総合的・重点的施策の推進	
(1)	伊勢湾再生ビジョンの策定	141

(2) 流域圏づくりの推進	141
(3) 宮川流域ルネッサンス事業の推進	141
(4) 日本まんなか共和国（福井・岐阜・三重・滋賀）連携の実施	141
2 公害防止計画の推進	
(1) 四日市地域公害防止計画の推進	142
3 工場等の許可制	
(1) 工場等の立地許可審査	142
第2 環境汚染等の未然防止	
1 環境影響評価制度の充実・強化	
(1) 環境影響評価	142
2 公害事前審査制度の活用	
(1) 公害事前審査	142
3 化学物質等の包括的な管理対策の推進	
(1) 漁場被害の未然防止	142
第3 健康被害の救済・予防	
1 健康被害の救済・予防の推進	
(1) 公害健康被害者に対する補償給付	142
(2) 保健福祉事業の実施	142
(3) 調査研究の実施	142
(4) 健康被害予防事業の実施	143
第4 公害紛争への対応	
1 公害等の苦情・紛争の処理	
(1) 苦情・公害紛争処理	143
(2) 住民による公害状況の調査請求	143
2 環境保全協定締結の推進	
(1) 環境保全協定指導調整	143
第2節 監視・観測等の体制の整備及び環境情報の提供	
第1 監視・観測等の体制の整備	
1 環境汚染の常時監視等の推進	
(1) 環境総合監視システムの維持	144
(2) 公共用水域の常時監視	144
第2 環境情報の提供・整備	
1 環境情報システムの拡充・整備	
(1) 環境情報システムの運用	144
(2) 環境教育情報システムの運用	144
(3) 地図情報システムを活用した森林資源の管理	144
第3節 環境保全に関する調査研究等の推進	
第1 公害の防止・自然環境の保全等に関する調査研究	
1 調査研究の推進	
(1) 科学技術振興センターにおける調査研究	145
(2) 保健環境研究所における調査研究	145
(3) 工業技術総合研究所における調査研究	145
(4) 農業技術センターにおける調査研究	145
(5) 林業技術センターにおける調査研究	146

目 次

(6) 水産技術センターにおける調査研究	146
第2 地球規模の環境保全等に関する調査研究	
1 地球環境関係物質等に関する調査研究	
(1) 酸性雨等森林衰退モニタリング調査の実施	146
(2) 酸性雨等の実態調査	146
三重県環境基本計画に係る目標値と現況値	147

資料編 目次 (参考)

1. 三重県環境基本計画に係る目標値と現況値.....	1
2. 環境行政組織と予算.....	4
(1) 環境行政組織（平成11年度）.....	4
(2) 環境関係附属機関、協議会等.....	13
(3) 予算.....	16
3. 年表.....	19
4. 各種委員名簿.....	21
5. 大気関係.....	29
6. 水質関係.....	60
7. 騒音・振動関係	129
8. 土壌汚染関係	137
9. 地盤沈下関係	143
10. 廃棄物関係	151
11. 生活排水対策関係	163
12. 公害健康被害者関係	165
13. 自然環境・森林保全関係	174
14. 教育・文化関係	190
15. 都市環境関係	193
16. その他	197

環境先進県をめざして 平成11年度のうごき



グリーンフェスタ'99inおわせ

【4月29日、尾鷲市営グラウンド他、7000名参加】

*自然環境の大切さについて考え、自然との共生を目指して記念植樹、三重県緑化功労者の表彰の他、自然とのふれあいイベントを実施しました。



熊野エコウォーク

【5月30日、熊野市志原川沿、50名参加】

*東紀州体験フェスタの一環として、東紀州の豊かな自然を実感するため熊野エコウォークを行いました。



産業廃棄物運搬車両路上検査

【7月：阿山郡阿山町・員弁郡藤原町

10月：岐阜県南濃町・滋賀県甲南町】

*県外から搬入される産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理を未然に防止するため、岐阜県・滋賀県と共同で県境付近での産業廃棄物運搬車両の路上検査を実施しました。



環境学習情報センターオープン

【8月11日、環境学習情報センター】

*三重県環境学習情報センターは環境学習をテーマに、県民に開かれた環境学習、情報受発信の拠点として、鈴鹿山麓リサーチパーク内にオープンしました。見学自由の展示コーナーのほか環境体験講座、インターネットによる環境情報の提供を行い、子どもから大人まで幅広く利用できる施設です。



’99子どもエコクラブ・交流会 in桜リサーチパーク

【8月11日、三重県環境学習情報センター
22クラブ・212名参加】
*クラブの紹介、環境活動報告のほかネイチャーゲーム
などを行い、環境にやさしい行動について考え、また、
会員相互の交流を行いました。



環境情報・環境監視システムの整備

【8月、環境学習情報センター】
*県内各地の大気環境濃度をリアルタイムに測定収集し、
光化学スモッグ発令情報や測定データをリアルタイム
に情報提供するシステムを整備しました。また、セン
ターのホームページでは、これらの情報の他、環境に
関する各種情報を提供しています。
(<http://www.eco.pref.mie.jp/>)



滝巡り & 大丹倉ハイク

【9月25～26日、熊野市、27名参加】
*自然環境への関心を高めるため、熊野地域の植物や地
質の話聞きながら豊かな自然の中でハイキングを行
いました。



里山シンポジウム (緑のネットワーク運動地域交流会 99)

【11月20～21日、津市青少年野外活動センター、
400名参加】
*緑のネットワーク運動の一環として、身近な自然であ
る「里山」の利用と保護を考えるシンポジウムを開催
しました。